

## 平成 26 年度 第 2 回役員会議事録

JCI 四国支部

1. 日 時 平成 27 年 2 月 2 日 ( 月 ) 16 時 00 分 ~ 17 時 40 分
2. 場 所 サポート高松 53 会議室
3. 出席者 支部長：島弘，  
幹事：甲斐芳郎，橋本親典，松島学，古田満広  
常任委員：紙田直充，川邊敏弘，川崎智治，久保博司，花井秀裕，藤井禎  
堀井克章，横井克則，横田優，谷脇準蔵  
支部監事：水越睦視  
( オブザーバー ) 上野みゆき，新居宏美
- 計 18 名

### 4. 配付資料

- 資料 2 - 0 平成 26 年度第 2 回役員会議事次第
- 資料 2 - 1 平成 26 年度第 1 回役員会議事録(案)
- 資料 2 - 2 平成 26 年度事業報告(案)
- 資料 2 - 3 平成 26 年度収支決算(案)・平成 27 年度収支予算(案)
- 資料 2 - 4 平成 27 年度事業計画(案)
- 資料 2 - 5 平成 26 年度役員名簿
- 資料 2 - 6 四国支部規程

### 5. 審議事項

島支部長より拡大幹事会開催に当たり挨拶があり，その後，各議題について審議が行われた。審議結果は，以下のとおり。

#### ( 1 ) 平成 26 年度第 1 回役員会議事録の確認 ( 資料 2 - 1 )

平成 26 年度第 1 回役員会議事録(案)について事務局より説明がなされ，承認された。

#### ( 2 ) 平成 26 年度事業報告案および収支決算案について ( 資料 2 - 2 ， 3 )

これまで実施した事業内容，3 月末までの事業活動予定および平成 27 年 3 月末までの収支決算見込み案について事務局より説明がなされ，一部修正し承認された。主な報告内容および審議結果等は以下のとおり。

- ・ 研究委員会活動 3 件について，それぞれの委員長または委員より報告があった。
- ・ 今年度で活動が終了する「塩害劣化を受けた鉄筋コンクリート構造物の耐荷力評価委員会」の報告書製本費用，報告書番号および成果報告会開催について，以下のとおり確認した。

【報告書製本費用】：原則，委員会費で処理する。

【報告書番号】：昨年度で終了した「鉄筋コンクリート造耐震壁の開口の取り扱いに関する研究委員会 ( 委員長：甲斐幹事 )」の活動報告書は製本せず，HP に掲載する

ことから報告書番号にカウントしない。よって、本委員会の報告書番号は「J C I S - 10」とする。

【成果報告会】：本年 6 月頃に開催する。報告書製本費も含めた報告会の収支が赤字になった場合の処理は、拡大幹事会で書面審議し決定する。なお、資料 2 - 2 の p6 の今後の予定および資料 2 - 4 の平成 27 年度事業計画に成果報告会開催予定を記載し明確にする。

( 3 ) 平成 27 年度事業計画案および収支予算案について ( 資料 2 - 3 , 4 )

事務局より平成 27 年度事業計画案および収支予算案について説明がなされ、一部修正し承認された。また、研究委員会、講習会および現場見学会について担当委員より説明がなされた。主な承認事項および修正事項等は以下のとおり。

- ・ 研究委員会 3 件が承認された。  
各種混和材料のコンクリートへの積極利用による高性能の付与に関する研究委員会  
【継続】  
委員長：氏家勲（愛媛大学）  
四国の生コン技術力活性化委員会【第 2 期】【継続】  
委員長：島弘（高知工科大学）  
四国のコンクリート構造物インフラドッグ実現に向けた調査研究委員会【新規】  
委員長：渡邊健（徳島大学）
- ・ 「各種混和材料のコンクリートへの積極利用による高性能の付与に関する研究委員会」では、平成 27 年度に成果報告として講習会を開催することが確認された。また、報告書に商品名を記載した場合、特定の企業の広告になる恐れがあるので注意するよう島支部長より助言があった。
- ・ 「四国の生コン技術力活性化委員会【第 2 期】」の成果報告を「生コンセミナー in 徳島」の一部として開催する提案が古田幹事よりあり、今後協議することになった。
- ・ 総会の議長、議事録作成者等は、総会当日に島支部長が指名する。
- ・ 総会後の特別講演の講演題目の(仮題)を削除することが確認された。
- ・ 講演会・講習会に「塩害劣化を受けた鉄筋コンクリート構造物の耐荷力評価委員会」の成果報告会および四国支部設立 10 周年記念事業を追加することが確認された。
- ・ コンクリート教育助成対象の高校を松山聖陵高等学校建築科とする。また、島支部長より以下のとおり意見がだされ、大会事務局( 多度津高校 )へ提案することになった。  
「本校はコンクリート甲子園へ参加していない。次年度大会は本校にも開催案内することが望ましい」
- ・ 四国支部設立 10 周年記念事業では、有名な講師を招き一般の方に多く参加して頂き本会の活動等を広く知ってもらう機会とすることが確認された。また、講師選任は橋本幹事が担当するが、4 月の役員会で幹事および常任委員は講師案を提案できるよう

島支部長より要請があった。

- ・ 平成 27 年度に 2 つの研究委員会が終了する予定である。平成 28 年度から活動を開始する研究委員会の設立提案をして頂きたい旨の要請が島支部長よりあった。
- ・ 現場見学会は NEXCO 案が承認された。また、現場への移動手段として駐車場のスペースを考慮し、大型バスを活用することが確認された。
- ・ 香川県生コンクリート工業組合青年部から要請があった「全国生コン青年部協議会主催の全国大会 in 高松」へのブース出展が 2 コマを上限に承認された。

( 4 ) 平成 27 年度・28 年度四国支部役員について ( 資料 2 - 5 )

平成 27 年度総会において任期満了になる役員改選について、以下のとおり対応することが確認された。

- ・ 支部長候補として橋本幹事を選出した。
- ・ 島支部長を常任委員候補として選出した。
- ・ 水越支部監事を候補者として選出した。
- ・ 四国支部規程第 4 条と第 5 条 3 項により幹事と常任委員の合計を 25 名以内とする。
- ・ 常任委員の変更を本日付で以下のとおり承認した。  
長尾和明 ( 四国電力 )    細川高志 ( 四国電力 )
- ・ 島支部長より出席委員に対し役員改選についての確認がなされた。また、交替する場合は、事務局まで報告するよう要請があった。

( 5 ) その他

本部代議員の選挙管理委員に上田常任委員が選出された。

以上

( 記録者 : 古田 満広 )